

# 2013 年度 公開講座【参加費無料 : 定員70名】

国際おもてなし学会準備会・星城大学地域センター・星城懇話会 共催

## 11月23日(土) 13:30~16:00

### 会場: 星城大学 4号館4階 4401教室

## 「英国コーヒーハウスの『男達』&アフタヌーンティの女性達」

星城大学教授(元京都大学副学長、前県立広島大学学長、元公立大学協会副会長) **赤岡 功**

「フランスに行きたしと思えどもフランスはあまりに遠し せめては新しき背広を着て気ままなる旅にいでてみん・・・」(萩原朔太郎 大正2年)。この詩のころも今も、日本の人にとって「ロン・パリ」は夢見る憧れの地。憧れるのは、フランスの料理・レビューなど、英国のアフタヌーンティー、テニスのウィンブルドン等、数多いのですが、今回は、郵便制度・新聞・保険等、重要なシステムと文化を生み出した英国コーヒーハウスについてまずお話しします。著名な経済学者も通ったのですが、なんと女人禁制でした。女性達はコーヒーハウスの閉鎖の嘆願もしましたが、紅茶を優雅に楽しむことにしました。英国国王チャールズ2世に嫁いだポルトガル王女がイギリス宮廷の貴婦人に喫茶の習慣を伝え、エレガントで贅沢なアフタヌーンティーがイギリスの女性達に広がりました。

今もロンドンのザ・リッツのアフタヌーンティーは1ヶ月以上前の予約が必要な盛況です。それをお楽しみになった本学の教授もおられます。英国のおもてなしを考えます。



## 「日本のおもてなし(1): 食文化から学ぶ日本人の心」

前愛知県立大府高等学校長、前愛知県立常滑高等学校長・愛知県立常滑北高等学校長 **神野 博子**

繊細で文化の香り高い「日本のおもてなし」は、世界の人々を魅了しています。「おもてなし」という言葉は、日本でのオリンピック開催決定の大きな決め手にもなりました。おもてなしは、衣食住・言葉・振る舞い・香り・音楽等々多様な文化の総合芸術といえます。なかでも、食事は、おもてなしの中心です。その食事の講演から、おもてなしの公開講座を開始します。

日本は昔、普段の食事はとても質素でした。ですから、お客様をおもてなしする時には特別の食事を用意しました。特別な食事(ハレの食事)を用意する日として、どこか家庭においても共通したのは、お盆やお正月です。

政府が「和食 日本人の伝統的な食文化」をユネスコの無形文化遺産に提案している今、食文化を通して日本のおもてなしを考えてみましょう。



**講演後、クッキーと紅茶でアフタヌーンティーをお楽しみください。**

★★ 申込方法 ★★ 締切 11月20日 (定員になり次第、締切とさせていただきます)

EメールとFAXでお申し込み頂けます。

Eメールの場合 氏名・郵便番号・住所・連絡先電話番号を記入のうえ、[koukai@seijoh-u.ac.jp](mailto:koukai@seijoh-u.ac.jp) へお送りください。

FAXの場合 このチラシ下部の申込書にご記入のうえ、(052)-601-6010 へお送りください。

申込書	
フリガナ お名前	電話番号 ( ) -
ご住所 〒	
フリガナ お名前	電話番号 ( ) -
ご住所 〒	

★★お問い合わせ★★

〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 星城大学エクステンションセンター公開講座係 052-689-6050